
スーパー高校生VS黒の組織

工藤志保

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スーパ―高校生VS黒の組織

【Nコード】

N7204B

【作者名】

工藤志保

【あらすじ】

帝丹小学校に転校した謎な女の子との出会い。この出会いがコナンの生活に変化を与える。

出会い

「何でここにいるんだよ。ここ博士の家だろ」

「言ったわよ。私の今住んでいるところ」

「ホレホレ。新一君もわしの家の住所を知らなかったんだから」

年賀状や手紙などは直接渡していたので、博士の家の住所を知らなかった。

「で、何でいるんだよ」

「哀君から聞いてないのか？おかしいのぉ。自分で言うから黙ってて言ってたんじゃないが」

「拾ってくれたのよ。あなたの家の前で倒れていた私を」

「何でこんな所にいるんだよ。本当の家はどこなんだよ」

「ないわ。私がいた研究所は組織に燃やされちゃったから」

コナンは灰原が言った“組織”という言葉に少し動揺した。

まさか……

「おい、組織って何だよ？」

「あら、知らないの？あなたは黒ずくめの男に毒薬を飲まされたんだよね？」

灰原はコナンの事をすべて見通しているかのように見える。

とりあえずはあまり関わらない方が無難だとコナンは考えた。

「そんなもの飲まされた覚えはないけど」

「とぼけるのはもうやめにしない？高校生探偵の工藤新一君」

今日転校してきた女の子は、俺の体を小さくした組織の一員だということがわかった。

それに俺の本当の正体を知っていた。

一体何者なのか……

コナンの前に新たな謎が……

出会い(後書き)

文章が下手ですみません。
なるべく更新していきます。
評価や感想をお願いします。
(参考にしたいので・・・)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7204b/>

スーパー高校生VS黒の組織

2010年10月10日03時19分発行